

2022年10月6日

ユニバーシアード大会記念第29回九州大学野球選手権における  
新型コロナウイルス対応ガイドライン

全九州大学野球協会

(基本方針)

第29回ユニバーシアード大会記念九州大学野球選手権(以下、当大会という。)の大会主催者、大会関係者および出場チーム関係者は、大会期間中における試合、移動等にあたって、新型コロナウイルス感染防止対策の基本となるソーシャルディスタンスの確保、密接・密集を避けること、マスクを着用することの3点を常に意識しながら行動することとする。

(観戦について)

○九州地区1位決定戦

日程：2022年10月11日(火)

球場：指宿市営野球場

○予選トーナメント

日程：2022年10月15日(土)～17日(月)

球場：雁ノ巣球場、FITスタジアム

○決勝トーナメント

日程：2022年10月下旬で調整中

球場：調整中

有観客試合で開催とする。ただし、球場を管轄している自治体等から指示があった場合または当大会開催時の国内および福岡県内の状況により、大会出場チームの部員、保護者、スカウト(社会人野球やNPB、独立リーグ等)のみ等、入場を段階的に設定することもある。

(球場に入る際の感染予防策)

(1) チーム関係者(以後、当大会に出場する各チームを指す。)

- ①「健康チェックシート」を試合当日に大会本部へ提出する。ただし、起床直後および出発前に検温を行い、体温が37.5度以上の者は球場への入場を禁止する。また、同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」とチェックがあった者の球場への入場可否については、事務局がチーム責任者と協議して判断する。

②関係者受付（入口）でアルコール消毒液による手指消毒を行う。

③入場後、グラウンド以外は常にマスク着用とする。

(2) 大会関係者（以後、全九州大学野球協会、各連盟事務局および学生幹事、審判、来賓、派遣部員等を指す。）

①関係者受付（入口）で検温を行い、体温が 37.5 度以上あった者は球場への入場を禁止する。また、「健康チェックシート表」に必要事項を入力し、同チェックシートの質問 3 項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、大会主催者が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。

②関係者受付（入口）で氏名、連絡先を記入し、アルコール消毒による手指消毒を行う。

③入場後は常にマスク着用とする。

(3) 報道関係者

①原則、事前に当協会へ連絡があった報道機関のみ、大会当日の取材を許可する。

②関係者受付（入口）で検温を行い、体温が 37.5 度以上あった場合は球場への入場を禁止する。また、「健康チェックシート」に必要事項を入力し、同チェックシートの質問 3 項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、大会主催者が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。

③関係者受付（入口）で氏名と連絡先を記入（もしくは名刺の提出）し、アルコール消毒による手指消毒を行う。

④入場後は常にマスク着用とする。

(4) 観客（出場校の部員、応援団、一般来場者、スカウト等）

①以下の事項に該当する場合は入場をお断りする。

(i) 過去 1 週間から現在までに体温 37.5 度以上、強い倦怠感、咳、咽頭痛、息苦しさ、味覚・嗅覚異常等の変異がある場合を含む体調不良のある方

(ii) PCR 検査陽性歴があり、(1) 有症状者では、発症日から 10 日未満、かつ、症状軽快後 72 時間以内 (2) 症状軽快後 24 時間経過から 24 時間以上の間隔をあげ、2 回の PCR 検査で陰性を確認できていない、または (3) 無症状病原体保有者では、陰性確認から 10 日未満 (4) 検体採取日から 6 日間経過後、24 時間以上の間隔をあげ 2 回の PCR 検査院生を確認できていない

(iii) 濃厚接触者となり、保健所等より自宅療養等の指示を受けている方

(iv) 家族が濃厚接触者として自宅待機中の方

(v) 家族に (i) におけるいずれかの体調不良がある方

(vi) 海外から帰国（日本へ入国）後、自宅待機期間となっている方

(vii) マスク非着用の方

- ②球場入口で検温を行い、体温が 37.5 度以上あった場合は入場をお断りする。入場料を徴収していた場合は返金する。
  - ③設置された消毒液で手指を消毒し、入場後、チケットに記載の QR コードから「健康チェックシート」に氏名、連絡先等必要情報を入力する。
  - ④入場後は常にマスク着用とする。
- ※球場側が定める入場制限人数に達した場合、入場をお断りする可能性がある。

#### (出場校関係者の感染予防策)

部長、監督、コーチは新型コロナウイルス感染防止対策を常に念頭に置きながら選手を指導することとする。

##### (1) 試合前

- ①選手控室では、チーム全体でのミーティングや喫食等、長時間の滞在を避ける。
- ②消毒液をベンチに設置し、適宜、消毒もしくは手洗い（流水のみでも可）を行う。
- ③ウォーミングアップ時のマスク着用は必須としない。

##### (2) 試合中

後記（試合について）に記載する。

##### (3) 試合終了後のベンチ入れ替えについて

- ①試合の合間に、大会関係者によってベンチ内の消毒を行う。また前試合チームと次試合チームとの接触をなるべく避けるため、次試合チームはグラウンド入り後、ベンチ前に待機し、前試合チーム退出後の消毒が完了次第、ベンチへ入る。

#### (大会関係者の感染予防策)

- (1) 本部席、審判控室、記録室、放送室等は、使用する者が定期的に換気する。
- (2) 各諸室、関係者用トイレには、消毒液を設置し、消毒や手洗いを徹底する。
- (3) 球場内は、常にマスクを着用する。
- (4) 座席の間隔は一定の距離を保つ。

#### (報道関係者の感染予防策)

- (1) 記者席では、使用する者が定期的に喚起する。座席の間隔は一定の距離を保つ。
- (2) 設置されている消毒液を使うなど、消毒や手洗いを徹底する。
- (3) 球場内は、常にマスク着用とする。
- (4) チーム関係者へ取材を行う場合は、取材対象者を事前に全九州大学野球協会に通知し、その指示に従う。
- (5) 取材するときは、2m 以上の距離を保つ。なお取材エリアは全九州大学野球協会の指示に従うこととし、ぶらさがり取材や囲み取材は禁止する。

(観客の感染予防策・注意喚起・要請)

- (1) スタンドでは必ずマスクを着用し、出場校の部員や応援団等による声を出す応援は全九州大学野球協会が設定したエリアのみとする。それ以外の座席では極力、声は発さず、拍手等で静かに応援を行う。
- (2) 観客の座席は極力1m以上(座席の椅子1個)離して着席する。
- (3) 球場内の放送等により、ソーシャルディスタンスの確保やこまめな水分補給、健康チェックシートの入力等をアナウンスする。
- (4) 感染が判明した場合及び濃厚接触者と指定された場合に備え、入場時にウェブ上の「健康チェックシート」の入力を必須とし、全九州大学野球協会は来場者の連絡先を把握する。
- (5) 感染が判明した場合、対象席番の情報をHP等で公表し、必要があれば連絡する。
- (6) 全九州大学野球協会は適宜、観客席や手すり等共用部分の消毒を行う。

(出場校の部員や応援団等の感染予防策)

- (1) 応援を行う者(以下、応援団・チア・吹奏楽等を指す。)は、マスクを着用して応援を行う。全九州大学野球協会が声出しを許可したエリアであれば、マスクを着用した上での声出しによる応援は可能とする。
- (2) 応援を行う者については、ソーシャルディスタンスを取り、最低前後左右1席分を空けて応援を行うこととする。なお吹奏楽については、その楽器の特徴を踏まえ、必要があればそれ以上の座席間隔を取ることとする。
- (3) 第1試合から第2試合に移行するときは、係による座席の消毒を終えてから第2試合の応援団は入場することとする。
- (4) 吹奏楽は楽器の水滴を拭くタオルを持参し、袋に入れるなどして管理する。
- (5) 全九州大学野球協会より座席位置等の指示があったときは速やかに従うものとする。

(試合について)

試合開始及び試合終了時ともに、ホームベースを挟んで両チーム向き合って整列し、挨拶を行うこととする。ただし、終了後の相手チームとの握手等は禁止とする。

(1) 審判員

- ① 球審はマスクの着用もしくは球審用マスクシールドを装着する。
- ② 熱中症の予防のため、イニングの合間に審判の給水時間を設けることがある。

(2) チーム関係者

- ① ベンチ内では選手同士の間隔確保に努める。
- ② ベンチ内は原則マスク着用を必須とする。
- ③ 素手でのハイタッチ、握手、メガホンの使用等を禁止する。
- ④ 試合前やイニング間の円陣は一定の間隔を保てるよう、広めに組む。

⑤投手交代等でマウンドに集まる場合、できるだけ選手、監督（コーチを含む）との間隔をとり、可能な限り接触を避ける。

⑥給水の回し飲みは禁止する。

⑦取材を受ける場合は、全九州大学野球協会の指示に従い、2m以上の距離を保つ。

### (3) 大会関係者

①使用する諸室、観客席のイス、手すりなどの消毒は随時行う。

(感染者等が発生した時の対応)

#### (1) 大会前日までの対応

##### ①チーム関係者

- ・チーム内の体調不良者が医療機関から新型コロナウイルスに感染の疑いがあると診断された場合、チーム代表者は全九州大学野球協会へ報告する。
- ・チーム代表者は検査結果を全九州大学野球協会へ報告し、陽性者は医療機関の指示に従い、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）には医療機関もしくは自治体の保健所等の指示に従う。
- ・チーム代表者は大会に出場可能な選手数を全九州大学野球協会へ報告する。
- ・全九州大学野球協会は当該チームの大会出場の可否について協議する。

##### ②大会関係者

感染または感染の疑いがある場合、すみやかに全九州大学野球協会へ報告し、大会運営の参加を自粛する。また、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）も大会運営への参加を自粛する。

##### ③観客（応援団含む）

感染または感染の疑い（体調不良も含む）がある場合、来場を自粛する。

#### (2) 大会期間中の対応

##### ①チーム関係者

- ・チーム代表者はすみやかに全九州大学野球協会へ報告し、感染者は医療機関の指示に従い、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）も自治体の保健所等の指示に従う。
- ・ベンチ入り選手を変更する場合、所定の様式を記入の上、全九州大学野球協会へ提出する。

##### ②大会関係者

感染または感染の疑いがある場合、すみやかに全九州大学野球協会へ報告し、大会運営の参加を自粛する。また、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）も大会運営の参加を自粛する。

##### ③観客（応援団含む）

感染が判明した場合、保健所の指示、指導に従うものとする。

④大会日程の変更等について

大会の中止を含む日程の変更等については、全九州大学野球協会が協議の上、決定する。

⑤当該チームの試合出場の可否について

全九州大学野球協会が協議の上、決定する。

(3) 大会終了後の対応について

チーム関係者、大会関係者および観客に感染したことが判明した場合、保健所の指示、指導に従うものとする。

(その他)

- ・新型コロナウイルス感染症等の国内感染状況によって、自治体等がイベントに対してのガイドラインを変更した場合、本ガイドラインも急遽変更することがある。
- ・本ガイドラインに記載されていない事象が発生した場合、適宜、全九州大学野球協会が協議の上、対応する。

以上

**【問い合わせ先】**

全九州大学野球協会事務局

Mail allkyushu.ubb@gmail.com

電話 070-2647-9641

※電話は予選トーナメントおよび決勝  
トーナメント開催日の9時～18時の  
み対応いたします